

## R7 授業づくりのチェックリスト

		個別	協働
学習環境の設定	① 活動の目的や流れが分かりやすく提示されている。		
	② 学習に取り組みやすい教材や学習環境が設定できている。		
	③ 座席や物の配置を工夫して、子どもが活動しやすい動線になっている。		
学習内容の工夫	④ 子どもの実態や興味・関心に応じた学習内容が設定されている。		
	⑤ 子どもが協力して活動できる機会や課題を設定する。	/	
	⑥ 子ども同士がやり取りできるような教材が工夫されている。	/	
	⑦ 活動のポイントやルールが具体的に分かるような教材が工夫されている。		
	⑧ 実態を考えてペアやグループを設定している。	/	
	⑨ 自己選択や自己決定の場面を作る。		/
	⑩ 発表の機会を設定し、互いの学習の成果を共有する機会を設けている。		
	⑪ 評価規準を明確にすることで、子どもが自己評価、他者評価をすることができる。		
指導者の支援	⑫ 子ども同士のやり取りを促すための適切な言葉掛けがされている。	/	
	⑬ 指導者が活動の手本を示すことで、その活動を子どもの役割となるように設定していく。		
	⑭ 学習の達成感が得られるように、指導者からの適切な評価を伝える。		